

1137

電信課長

大臣

次官

亞細亞(商) 歐米 通商 條約 情報 文化 人事

寫送先

昭和7 一六三八二 暗

蘇州 本省

十九日後發 七月二十日前着

亞、通

内田外務大臣

川南領事代理

第二三號ノ一

當地反日會検査員ハ學生(從來日貨検査ニハ中等學校生交代ニ從事シ目下成烈體育專門學校生之ニ當リ居レリ)ノ援助ヲ求メ市内ノ要所ニ検査處ヲ設ケ日貨ヲ差押ヘ會則違反者ニハ罰金ヲ課シ居レル處當地方ハ目下虎列刺猖獗シ死亡者毎日數十人ヲ出シ居ル爲邦人藥店ノ復歸後藥品ノ品切ニ苦メル醫師連中(當地ニハ日本留學出身者多數有リ)ニハ醫師界ノ決議ヲ潛リ竊ニ注文ヲ發スル者有リ賣藥類ノ小買者モ可成リ多キ爲店主モ喜ヒ居ル矢先反日會ノ感知スル所トナリ

外務省

1137

藥店(租界外ニ有リ)ノ附近ニ見張番ヲ置キ出入者ヲ監視シ購買者ヲ見付ケ次第現品ヲ沒收シ反抗者ハ反日會ニ連行シ或ハ公安局ニ送り居レリ(續ク)

212

0064

外務省

211

0063

1137

電信課長

大臣

次官

有田

亞細亞

歐米

通商

條約

情報

文化

人事

文書

寫送先

昭和7 一六三八一 暗

蘇州 本省

七月十九日後發  
二十日前着

亞、通

内田外務大臣

川南領事代理

第二三號ノ二

差押日貨モ相當數ニ達シ居ルヤニテ蘇州高級中學生取扱ノモノニテ  
現存セル分ニテモ八百數十件アリトノコトナルカ折角復歸シテ業務  
再開ノ緒ニ就キタル邦商カ反日會ノ爲妨害ヲ受クルハ（直接行動皆  
無）甚タシキ苦痛ナルヲ以テ本官ニ於テハ事件ノ都度公安局ニ對シ  
反日會員ノ不法行爲取締方ヲ申入ルルト共ニ本邦人ノ通商保全方要  
求シ居ル處公安局側ニ於テモ反日會ノ不法ハ默過シ難キヲ以テ  
縣政府商會側トモ協議シ取締方考究中ニシテ右決定次第勵行ス可ク

1137

決シテ放任シ居ル譯ニ非サル旨辯明シ居レリ一方反日會ニ於テハ日  
商復業ノ對策トシテ宣傳隊ヲ組織シ仇貨勿購ヲ講演スル外傳單ヲ撒  
布シテ之カ目的ノ達成ヲ期スルコトニ決議セル趣ナリ  
支ヨリ上海へ轉報アリ度シ  
支、南京へ轉電セリ

214

0066

外務省

外務省

213

0065

1137

電信課長

大臣

次官

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書

寫送先

1137

衆ノ氣受ケハ別シテ變化無ク租界外ノ商店ヲ除キ何レモ支障無ク營業ヲ續ケ居レル處四五日前ヨリ夜間本官官舎ニ電話ヲ掛ケ取次ノ被傭人ヲ強迫罵倒スル者アリ連(續)三夜ニ及フ處其ノ發話者ヲ突留メタル結果右ハ中國體育學校ノ學生ナル事判明セルヲ以テ目下公安局ニ通知内債中ナリ

支ヨリ上海へ轉報アリ度

支、南京へ轉電セリ

216

0068

外務省

1137

電信課長

大臣

次官

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書

寫送先

2170.21-5)

昭和7 一六五〇二 暗

蘇州 廿一日後發

本省 七月廿一日後着

川南領事代理

亞、通

昭和二五號

日會ニ於テハ二十日各商店ノ支配人ヲ縣黨部ニ召集シ黨部縣政府地方法院縣商會ノ各代表者臨席日貨不賣ノ宣誓式ヲ舉行セルモ商店側ノ參加者僅カニ二十數名ニテ類ル振ハサリシ趣ナルカ最近日貨ノ検査ハ益々峻烈ヲ極メ水陸ノ要所ヲ初メ停車場ニハ絶ヘス検査員ヲ配置シテ貨物ヲ差押ヘシメ連日被害鮮カラス中ニハ反日會ヲ裝ヒ甘キ汁ヲ吸ヒ居ル者アリ商人連ハ其ノ識別ニ苦シミ不平ダラダラ乍ラモ荒立テル勇氣無ク何レモ泣寝入ノ儀ナリ尙邦人復歸後ニ於ケル民

215

0067

外務省

1137

電信課長

大臣

次官

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事

寫送先

1137

11.10.25-1

昭和7 一九〇〇四 暗

蘇州 本省

廿七日後發 八月廿七日後着

亞、通

内田外務大臣

第二九號

川南總領事代理

當地反日會ハ幹部職員ガ私利ヲ計リ居ル事實暴露シ縣當局ヨリ工作停止ヲ命セラレ省黨部ヨリ派員調査ノ結果關係者ハ目下地方法院ニ於テ審理中ナルカ一時影ヲ潛メタル排日運動モ新幹部ノ就任ト同時ニ擡頭シ來リ一方上海ニ於ケル血魂除奸團ハ當地ニ分團ヲ設ケ活動シ始メタル外鐵血誅奸團縱火滅奸團蘇州鐵血鋤奸團等ト稱スルモノ出現シ日貨販賣嫌疑ノ商店ニ對シ期限内ニ日貨ノ封存ヲ實行セサレバ手榴彈乃至砲火ヲ以テ報復スベシトノ脅迫狀ヲ送り中ニハ小銃彈

外務省

217

0069

上海日支衝突事件  
排日排貨關係

ヲ同封セルモノアル爲商人ハ恐怖心ニ驅ラレ居レリ去ル二十五日ノ如キハ縱火滅奸團ヨリ租界外居住邦人藥店隣家ノ寢臺商ニ對シ「三日以内ニ日貨ヲ封存スヘク然ラザレバ店舗ヲ燒拂フベシ尙隣家藥店（邦商ノ家號ヲ明記セリ）ノ藥品ヲ代賣シ居レリトノコトナルガ之亦注意ヲ要ス」トノ脅迫狀ヲ送り來リタルガ店主ハ日貨販賣ノ事實ナキ旨ヲ以テ公安局ニ申告セル趣ナリ  
支ヨリ上海、杭州へ轉報アリ度シ  
支へ轉電シ南京へ暗送セリ

外務省

218

0070

懸案

1137

文書課長

文書課發送

主 管 情報部長

昭和七年七月廿日

正(原稿) 淨書

(甲 號用紙)

普通 機

大正昭和七年七月廿日

附屬書 通

受 信 玉隆 協

發 信 外務省 情報部

件 名 蘇多 協

名 綴

今般 協 通 同地 有 狀 況 報 告

公 信 案

外 務 省

0071 219 23 19 2297

1137

轉 報 小

協 報

記

公 信 案

外 務 省

蘇多 協 之 有 旨 令 務 處 員 以 協 報 者  
お二宮 上 同 地 中 有 旨 令 務 處 員 之 協 報 者  
居 上 目 下 成 烈 本 省 有 旨 令 務 處 員 之 協 報 者  
上 旬 經 人 弗 々 復 報 之 旨 令 務 處 員 之 協 報 者  
出 時 同 地 之 旨 令 務 處 員 之 協 報 者

220 0072





記

上野血魂除奸團最上少佐支那ヲ新獲シ活  
動ヲ开始ス外同團上野ニ在リテ活動振ラシ  
刺戟セラレ右トテ亦右ニテ活動多ク血鋤奸團  
録血誅奸團、縱火滅奸團等出現シ支々日俵  
取扱テ形勢又々々ノ嫌疑多ク在リ日俵大村  
存ヲ、官サレセザル時、爆弾又ハ砲火ヲ報復ス

公 信 案

外 務 省

0077

〜シ云々ノ背唱状ヲ送付シ、其ノ内ニハ銃弾  
ヲ同封セシメ、是レハ其ノ日俵、取扱テ形  
勢ハ上野ニ在リテ同團ノ活動ノ甚クモリ何レモ  
大ニ之ヲ解テ取テ取テ取テ、競々トシテ禍ノ身ニ  
及ボサシテ、コトヲ念ムルニ及レリ、一ノ事ヲ諫ムル  
有リ活動ヲ繼續シ来リシ事、其ノ事ハ右  
警部職官カ、其ノ地位ヲ如何ニシテ、如何ニ

公 信 案

外 務 省

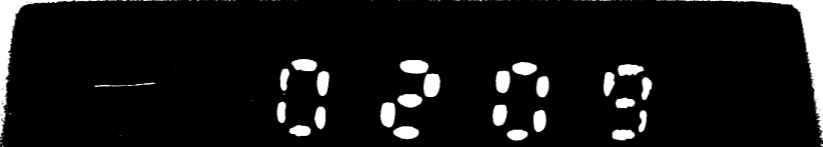
0078





公 信 案																				
外 務 省						名 正 評 ト サ リ 大 ク 指 頭 シ 来 レ リ。		批 目 通 シ 高 マ ク ノ 批 目 部 一 就 任 也			ニ 於 テ 目 ノ 字 理 申 上 ル 一 時 別 ク 指 頭 シ 居 リ シ ル		申 上 ル 者 其 部 一 字 理 者 自 知 リ 批 後		居 ル 目 通 シ 批 目 部 一 字 理 者 自 知 リ 批 後					

0079



1137

電信課長

大臣

次官

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化

寫送先

昭和7 二八一五三 暗

蘇州 本省

十二月廿五日前着

亞通

内田外務大臣

第五〇號

川南領事代理

一、當地ノ反日救國會ハ役員カ賄賂ヲ受ケ日貨抑留ニ手加減ヲ加ヘ居ル事實ヲ發見シタル爲彈劾セラレ辭任シ改組中ナリシカ新委員ノ顔觸モ決定シ新ニ検査員其ノ他ノ職員ヲ増加シテ去ル二十日ヨリ積極的ニ活動ヲ開始スルコトトナレル概ナリ

二、最近長江一帶地方ニ於ケル日貨ノ移入狀況ニ顧ミ抗日宣傳ノ目的ヲ以テ數日前上海ヨリ救國同志會驅日商線敢死隊ナルモノ當地ニ入込ミ黨部及反日會方面ト聯絡シ日貨取扱商ヲ發見次第激烈ナル手段

外務省

224

0080

1137

ヲ以テ制裁ヲ加フヘキ旨宣傳セラレ居リタル處二十三日午後七時過城內大通リニ在ル一吳服店ニ對シ新聞紙ニ包メル爆彈一箇ヲ投入セル者アリ爆彈ハ火藥ヲ拔取レルモノニテ何等損傷無カリシモ一時恐慌ヲ起シタル由ナルカ右敢死隊ニ於テハ當地ノ吳服商、金物商四十數軒ニ對シ日貨封存ヲ實行セサレハ爆彈ヲ以テ見舞フヘントノ脅迫狀ヲ送附セルヤニテ關係商人ハ難カラス怯居レリ

支ヨリ上海へ轉電アリ度シ

支、南京へ轉電セリ

外務省

225

0081

1137

電信課長

大臣  
次官

亞細亞  
歐米  
通商  
條約  
情報  
文化

寫送先

1137

明スル要アリトシ一月十四日各地ノ反日團體ニ通電ヲ發シ一致抗爭  
ヲ期スルト共ニ同地縣黨部ヨリ省黨部ヲ通シ省政府ニ質問スルコト  
トナレル趣ナリ  
上海ヨリ支ヘ轉報アリ度シ  
上海、南京ヘ轉電シ蕪湖ヘ暗送セリ

外務省

227

0083

分類 11.10.21 5

昭和8 九五九

暗

蘇州  
本省

十七日後發  
一月十七日後着

亞

内田外務大臣

川南領事代理

第二號

江蘇省政府ニ於テハ各地ノ反日會カ商家ニ侵入シ日貨ヲ検査スルニ  
對シ其ノ權利無キ旨並公安局モ反日會ト協力シ人民ヲ逮捕拘禁スル  
責任無シトノ指令ヲ發シタル趣ナルカ右指令ニ接セル無錫ノ反日會  
（同地方ハ當館管下ニ於テ排日氣勢最モ熾烈ナリ）ニ於テハ東北ノ  
失地一年ヲ超ヘ今又山海關破レ平津危急ヲ告クル際後方ノ民衆ハ徹  
底的ニ抗日經濟絶交ヲ勵行シテ敵ノ死命ヲ制スヘキ秋ニ當リ突如省  
政府カ此ノ指令ヲ發セルハ如何ナル用意ニ出テタルカ其ノ理由ヲ糾

外務省

228

0082

蘇州  
排日排貨  
録

電信寫

秘

昭和8

蘇州 二十五日後發  
本省 一月二十五日後着

内田外務大臣

川南館事代理

第三號

最近各地ノ抗日運動熾烈トナルニ連レ當地反日會ニ於テモ押收日貨ノ處分ト日貨取扱者ノ制裁ニ躍起トナリ居ル處一石炭商ノ如キハ日本炭販賣ノ事實發覺シタル爲罰金ヲ課シタル上一月二十三日店主ヲ引致シ日貨販賣奸商ト墨書セル紙帽子ヲ被セ同紙片ヲ脊中ニ貼附ケ反日會員監視ノ下ニ「打倒奸商」ヲ呼號シツツ市内引廻ノ制裁ヲ加ヘタリ

支ヨリ上海へ轉報アリ度シ  
支、南京へ轉電シ、蕪湖へ暗送セリ

0 264

0084

1137

電信課長

大臣  
次官

亞細亞  
歐米  
通商  
條約  
情報  
文化

寫送先

昭和8、三三四五 暗

蘇州  
本省

十八日後發  
二月十八日後着

亞

内田外務大臣

第一〇號

川南領事代理

記録係  
排日排貨手帳

近當地ノ對日空氣頓ニ惡化シ邦人ヲ罵リ或ハ惡戯ヲ試ミテ嘲笑ス  
ルモノアリ飲食物ノ供給スラ拒絶スルモノ等アル處石ハ國際聯盟ノ  
對日動向ニ對スル一種ノ優越ト熱河方面ノ情勢ニ對スル敵愾心ヨリ  
出テタル昂價的行爲ト認メラレ今後ノ形勢ニ連レ事態惡化スルニア  
ラスヤト察セラルルニ付邦人ニ對スル保護方ニ付支那側ノ注意ヲ喚  
起シ置キタルカ在留民ニ於テハ目下第八十八師ノ部隊(師團司令部  
ハ無錫ニアリ)カ一ヶ旅ヲ當地ニ集中シ多數ノ外出兵市内ニ入込ミ

1137

居ル現狀ニ顧ミ成ルヘク外出ヲ見合セ警戒ニ努メ居ルモ尙本官ヨリ  
此ノ際輕舉妄動ヲ慎ミ事端ヲ醸スコトナキ様嚴重示達シ置キタリ  
支、南京、蕪湖へ轉電セリ  
支ヨリ上海へ轉報アリタシ

外務省

外務省

0085

223

0086

229

1137

電信課長

大臣

次官

亞細亞  
歐米  
通商  
條約  
情報  
文化



寫送先

昭和8 三三四九

暗

蘇州 十八日後發  
本省 二月十八日後着

亞通

内田外務大臣

川南領事代理

第一一號

當地反日會ノ活動ト呼應シ商會側ニ於テハ頻リニ國貨提唱ノ宣傳ニ  
努メ來リタルカ之カ徹底ヲ期スル爲二月十八日ヨリ四月二十九日ニ  
至ル九週間ニ亘リ官民ノ名士ニ後援ヲ頼ミ「ラデオ」放送ヲ爲スコ  
トニ決シ愈々本十八日午後五時半開始實行スル筈ナルカ後援者ノ顔  
觸ハ官吏、黨部員、新聞記者其ノ他民間ノ名士ヲ集メ豫テ排日言論  
ノ勇ヲ以テ聞ユル者モ有ルニ付時局柄定メシ民衆ノ抗日氣分ヲ唆ル  
コトナルヘシト察セラル尙吳縣縣下ノ小學校ニ於テハ國防用トシテ

1137

飛行機二臺ヲ獻納スル計畫ヲ樹テ資金十六萬元ノ釀出方法トシテ各  
教員ノ俸給百分ノ一ヲ二月分ヨリ貯蓄スルト同時ニ生徒ヲシテ一齊  
ニ募集セシムル筈ニテ黨部及教育局ニ於テ指導ニ當ル由ナリ  
支ヨリ上海へ轉報アリタシ  
支、南京へ轉電シ、蕪湖へ暗送セリ

外務省

外務省

記

0087

230

0088

231

秘

支

電信寫

昭和8

暗

蘇州  
本省

二月廿二日前着

亞、通

内田外務大臣

第一三號

川南領事代理

最近當地反日會カ日貨ノ出入ニ異常ノ注意ヲ拂ヒ水陸ノ要所ニ見張員ヲ増加シ荷モ日貨ノ疑有ルモノハ容赦無ク差押居ル處一邦商カ支那人ニ賣渡スヘク上海ヨリ仕入レタル綿糸十棚ヲ二十日午前十時頃陸揚セントスル際反日會員ニ差押ヘラレ持去ラレタリトノ報ニ接シ(同時ニ到着セル支那人ノ荷物中ニハ貨ト認メラレ押收セラレタルモノ鮮カラスト言フ)當館ニ於テハ直ニ公安局並縣政府ニ對シ其不法ヲ責メ即時現品ノ返還方ヲ要求セル處陳謝ノ意ヲ表スルト共ニ直

ニ黨部ニ掛合ヒ返還方取計フヘキ旨約束セルカ本二十一日ニ至ルモ返還ノ模様無キ爲目下嚴重交渉中ナルカ本件ハ本年ニ入り邦商關係ノ第二回目ノ事件ニシテ(初回ハ蠶種浸淫用ノ鹽酸ヲ日本租界ヨリ運搬ノ途中押ヘラレ沒收セラレタルモ關係者ニ於テ表沙汰ニスルヲ好マス當館ニ届出ヲ爲サス)邦商カ從來使用支那人ノ名義ヲ利用シ取引シ居ル裏面ノ事情モ有リ反日會ニ於テモ右關係ヲ嗅附ケ居ルヲ以テ解決迄ニハ相當ノ時日ヲ要スヘク察セララル  
支、南京へ轉電セリ

0 317 ( 0090

0 316

0089

REEL No. A-0127

秘

昭和8

暗

蘇州 本省

二月廿三日 前着

亞

内田外務大臣

第一四號

本官發支宛電報

第七號

貴電合第一〇一號ニ關シ

當館力愈引揚ヲ要スル場合ニ立至レハ上海事變當時ノ例ニ照ミ民心  
 程度ニ悪化シ或ハ停車場ヘノ乗物スラ供給スルモノ無ク鐵道乗車不  
 可能トナルヤモ知レス本官ニ於テハ出來得ル限り鐵道ヲ利用シ度キ  
 所存ナルモ萬一乗車不可能ニ陥ルカ又ハ乗車スルモ危険伴フ場合ハ  
 已ムヲ得ス水路ヲ採ル外無キヲ以テ豫メ小蒸汽船ノ用意御手配置ア  
 リ度シ（水路ハ匪賊出沒ノ惧レ多分ニ有ルヲ以テ汽船ニハ相當ノ武  
 裝ヲ要ス）所要數ハ必要ニ應シ電報致スヘシ尙小蒸汽ハ鐵道利用ノ  
 場合停車場ヘノ乗用ニモ安全便利ナルヘキヲ以テ形勢如何ニ依リテ  
 ハ豫メ當地ニ呼寄セ待機セシメ置ク方都合良カルヘク思料セラルル  
 ニ付御含置キヲ請フ唯當地トシテ事態切迫ノ場合最苦痛ヲ感スルハ  
 通信ノ支障ナリ上海事變當時ノ如キ貴地トノ電話ハ勿論電信モ殆ト  
 不通同様ノ状態ナリシヲ以テ（當地電報局ハ當館ヲ去ル一里餘ニテ  
 徒歩ニテ配達スルヲ以テ常ニ延着ヲ免カレサルカ事變ノ際ハ故意ニ  
 配達セサリシ疑アリ）今回モ到底確實ヲ期シ難カルヘク懸念セラル  
 ルニ付テハ此ノ際貴地トノ通信聯絡ニ有效ナル方法モ有ラハ御考慮

電信寫

0 322 ( 0092 ) 0 321 0091

REEL No. A-0127

0 2 1 5

アジア歴史資料センター



置キアリ度シ尤本官ニ於テ速ニ當地カ有事ノ際通信竝ニ交通上孤立  
シ無援ニ陥ル惧レアル土地柄ナルニ鑑ミ官民ノ安全ヲ期シ得サルカ  
如キ狀勢ニ迫レハ成ル可ク御迷惑ヲ掛ケサル様善處シ度キ所存ナル  
モ右不取敢心付ノ儘卑見申進ス  
大臣へ轉電セリ

0 323

0093

REEL No. A-0127

0 2 1 7

アジア歴史資料センター

1137

電信課長

大臣  
次官

亞細亞  
歐米  
通商  
條約  
情報  
文化

寫送先

1137

A.L.L. 215

昭和8 六七二九 暗

蘇州  
本省

三月廿五日後着

亞

内田外務大臣

第二四號

本官發上海宛電報

第三號

最近貴地同文書院學生カ休暇ヲ利用シ當地ニ泊リ掛ケニテ遊覽ヲ爲  
スモノアル處廿三日四名ノ學生カ支那旅館ニ泊リタルニ對シ青年救  
國會ノ名義ヲ以テ旅館支配人ニ宛テ宿泊ノ日人ハ上海ノ浪人ニシテ  
領事館ノ命令ヲ受ケ來蘇シ軍情ヲ探リ密ニ事ヲ構ヘントスルモノニ  
シテ意外ノ事件發生スルヤモ知レサルニ付廿四日午後五時迄ニ彼等

外務省

0094

232

ヲ去ラシメサレハ爆彈ヲ以テ殺ユヘント強迫狀ヲ送リ越シ旅館側ニ  
テ當惑セルヲ以テ學生等ハ同時刻前ニ出發歸滬セリ當地ノ對日空氣  
ハ幾分緩和ノ感アルモ反日會ノ活動ハ益々横暴ヲ加ヘ居ル一方官憲  
ニ於テモ保護取締ヲ口實ニ邦人ノ出入ヲ監視シ停車場駐在ノ軍憲ハ  
一々邦人旅客ヲ査問シ氏名ヲ新聞ニ發表シ時ニハ故意ニ荷物検査ヲ  
爲ス等ノコトアルヲ以テ軍警當局ニ對シテハ當館ヨリ警告ヲ與ヘ置  
キタルモ學生等ノ遊覽ノ如キハ此ノ際見合ハス方可然認メラルルニ  
付右同文書院へ細傳達アリタシ  
支へ轉報アリタシ  
大臣、南京へ轉電セリ

外務省

0095

233

1137

電信課長

大臣  
次官

亞細亞  
歐米  
通商  
條約  
情報  
文化

8. 5. 5 11

寫送先

(分類 11.1.0.21-5)

昭和8 九三二四 暗

蘇州  
本省

五月三日 前後發着

亞、通

内田外務大臣

第二七號

川南領事代理

當地最近ノ狀況左ノ通

一、「メーデー」當日ハ軍警ノ警戒嚴重ヲ極メ何等ノ催シモナク平穩裡ニ過キタリ

二、反日會ノ日貨検査ハ依然其ノ手ヲ緩メス間斷ナク商店ヲ荒シ廻リ荷モ日貨ノ嫌疑アルモノハ假借ナク没收シ反日會ニ封存ノ商品夥シキモノアリ其ノ内腐敗又ハ汚損シ易ク保管ニ堪ヘサルモノハ變賣其ノ他ノ方法ニ依リ處分シ居ル爲商人ハ經濟界不況ノ折柄一層

記録簿 滿洲事變

管排領事

0096 記

281

外務省

1137

疲弊シ居ルモ中ニハ反日會員ノ横暴ニ反抗シ命令ニ服從セサルモノアル爲之等ノ所謂奸商ヲ懲戒スル要アリトシ反日會ニ於テハ四月二十九日ノ會議ニ於テ木製ノ櫛ヲ急造スルコトニ決セリ往電第一三號ノ邦人棉花モ其ノ後交渉ヲ續ケ邦人所有品タル證據ヲ附突ケ返還ヲ求メタルニ對シ縣政府側ハ當方ニ同情ヲ表シ解決方苦心シ居ル模様ナルモ反日會及黨部ニ於テモ屁理屈ヲ並ヘ應諾セサル爲持テ餘シ居ル模様ナルカ本件ニ付テハ省黨部ヨリ調査員派遣セラレ政府ヨリモ慎重ニ辨理スヘキ旨ノ内訓モアルヤニテ其ノ内解決ヲ見ルヘク折角折衝中ナリ

三、當地基督教青年會ニ於テハ北方戰線ニ出動中ノ將兵及傷病兵へ寄贈ノ「シャツ」及半「ズボン」八千組ヲ募集中ニテ材料ハ國産ノ

0097

285

外務省

1137

綿布ヲ使用スルコトトシ同會ニ於テハ四百組ヲ製造シ其ノ餘ハ一  
般ノ寄贈ヲ求メ調達出來次第委員ヲ派遣シテ戰線ニ運送セシメ兼  
テ將兵ノ慰問ヲ爲サシムル筈ナリトノコトナリ  
公使南京へ轉電シ蕪湖ニ暗送セリ  
公使ヨリ上海へ轉報アリタシ

外務省

286

0098

大

1137

普通第一七〇號

昭和八年九月十日

在蘇州

領事 川南省

外務大臣伯爵 内田 康哉 殿

反日會抑留ノ邦人所有棉絲返還ニ關シ報告ノ件

本年二月二十日在上海日華蠶絲株式會社ヨリ民船ニ積込當地支店ニ送致セル棉絲十捆（價格二千三百七弗）ヲ當地ニ於テ陸揚前反日會員ノタメ同船積載ノ日貨ト共ニ一併抑留サレタル事件ニ對シ支那側ト交渉ノ次第ハ當時及報告置タル處支那側ニ於テハ飽クマテモ支那人ノ所有物ナリト強辯シ當方ノ提示セル證據ヲ否認セルト一面黨部及反日會ノ數回ニ亘ル改組ニ伴フ役員ノ更迭等ニ依リ交渉抄取ラ

在蘇州日本領事館

昭和八年九月廿日



27/9

0000

237

1137

サリシカ縣政府ノ斡旋ニ依リ黨部及反日會ニ於テ當方ノ主張ヲ容レ八月二十三日漸ク現品ノ返還ヲ受クルニ至レリ（反日會ニ於テ保管中倉庫ニ下積ミノ部分ニ濕氣ヲ受ケ若干ノ損害ヲ生シタルニ付之カ賠償方ニ就キ折衝中）

右報告ス  
本信寫送付先 在華公使 上海 南京

在蘇州日本領事館

0100

238